

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みきの家（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月19日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年12月19日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報共有を徹底し、支援に役立っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードにその日の役割や支援担当を書き、支援前に確認すると共に口頭で伝えあっている。 ・安全計画、研修資料、訓練報告書などを全員に周知・共有している。 ・支援に関することはミーティングで伝えているが、参加できなかった指導員には支援経過記録や回覧ノートを使って伝達し、統一した支援を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のコミュニケーションを大切に、風通しの良い環境を作る。 ・支援前後に情報共有をする時間を確保する。 ・定期的に職員間でアセスメントシートやヒヤリハット報告書等の振り返りを行い、支援方法のアップデートを行う。
2	一人ひとりの特性に応じた環境づくりをしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式つい立を使用し、空間を仕切ることによって落ち着いて活動できている。 ・クールダウンできる小部屋、静養室を利用し気持ちの切り替えができるよう支援している。 ・屋外に広いスペースがあり、伸び伸びと体を動かす活動ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心して過ごせるよう定期的に環境整備を実施する。 ・必要に応じて安全計画や安全確認チェックリストの見直しと更新を行う。
3	地域交流、家族交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の文化祭や地域の文化祭などに参加し、交流を図っている。 ・令和7年度から保護者参加型のイベントを実施しており、今年度も実施予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われている地域交流会に保護者も招待する。 ・保護者が児童の活動の様子を見ることができている機会を増やす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	十分な活動スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に大きな公園があるが、環境整備が不十分であり、有効に活用できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所に柵やロープをして、利用者が入らないようにする。 ・屋外に日差しや雨をしのげる場所を作り、暑い日や天候が悪い日でも外で活動できるようにする。
2			
3			